

## 感染症情報 5月28日～6月3日

府下小児科197医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1589例(堺市	78例)
②溶連菌感染症	647例(堺市	38例)
③咽頭結膜熱	214例(堺市	6例)
④突発性発疹	113例(堺市	7例)
⑤みずぼうそう	105例(堺市	10例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市27)から

インフルエンザ	11例(堺市	0例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比7.7%減の2,863件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、咽頭結膜熱、突発性発疹、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より14%減、堺市では前週より10%増であった。溶連菌感染症は府下で前週より6%増、堺市で前週48例→今回38例で21%減であった。咽頭結膜熱は府下で前週比7%増、堺市で前週12例→今回6例であった。当科周囲では増加している感がある。みずぼうそうは府下で前週より16%減、堺市では前週5例→今回10例であった。

堺市の流行性角結膜炎(いわゆる「はやり目」)は前々週6例→前週2例→今回1例で拡大していない。インフルエンザが府下で前々週30例→前週49例であったが、今回は11例に留まった。

麻疹や風疹の報告はなかった。